令和7年度 2年次生 学びのプラン

教科名	地理歴史	単位数 (コマ数)	2単位 2(コマ)	履修年次	2年次	
科目名	地理概論	履修	選択	開講	通年	
教科書	学校設定科目のため、プリントを使用	副教材	新詳地理資料COMPLETE2025(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)、 大学入学共通テスト対策チェック&演習地理-地理総合、地理探究(数研出版)			
1 学習の目標						
地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養い、基本的な事象・現象を理解させ、地理的な見方や考え方を育成する。						
2 学習の方法						
①授業 資料集・地図帳・問題集を用いて、板書・説明をしながら、多くの発問を取り入れ、知識・定着度を確認しながら進めていきます。						
②授業に必要なもの 資料集・地図帳・問題集・クロームブック						
3 評価について						
①評価の観点						
知識・技能	地理的な基本事項を、歴史的背景と関連づけながら理解し、その知識を身につけようとしている。					
思考・判断・表現	世界の諸地域の生活・文化および地球的課題について、多面的・多角的に考察するとともに公正に判断し、その結果を適切に表現することができる。					
主体的に学習に取り組む態度	現代世界の地理的諸課題に関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる主権者としての資質を養う。また、他者と積極的に関わりながら理解を深めようとしている。					
②評価の方法						
観点	材料	定期考査	問題集	プリント	グループワーク	評価方法
知識・技能		○	○	○		定期考査や提出課題等によってA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
思考・判断・表現		○	○	○	○	定期考査や提出課題等によってA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
主体的に学習に取り組む態度			○	○	○	プリントやグループワーク、課題等によってA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
4 その他						
授業の進度により年間計画が変更になる場合があります。						

5 単元の目標・評価						
単元名	(1)地図と地形					
単元の目標	地図の基本的な考え方、各図法の特徴と利用方法を理解する。また、河川、海岸、その他特殊な地形の成り立ちと種類、特徴について、人々の生活との関わりを踏まえて理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	地図の基本的な考え方や図法によってさまざまな要素の表現が異なることを理解し、それらに関する知識や活用方法を身につけている。 地形に関する基本的な事項や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。		経度の違いと時差についての基本的な事柄を理解し、それらの知識を身につけている。 さまざまな地形について、地域性や日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察する。		球面と平面で表される世界に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 さまざまな地形に対しての関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	
単元名	(2)気候、自然災害・防災、環境問題					
単元の目標	気候の特徴と人間生活との関わりや自然環境と防災、地球環境問題の原因とその影響について理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	気候についての基本的な事項や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 自然環境と防災や地球環境問題についての基本的な事項や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。		各気候帯の特徴や人々の暮らしを考察し、その過程や結果を適切に表現している。 自然環境と防災や地球環境問題についてそれぞれの課題を見出し、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。		気候や自然環境と防災、地球環境問題についての課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	
単元名	(3)農林水産業、食料問題					
単元の目標	農林水産業と人間生活の関わりや世界の食料問題について理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	農林水産業についての基本的な事項や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 食料問題についての基本的な事項や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。		農林水産業の課題を見出し、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 食料問題の課題を見出し、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。		農林水産業や食料問題についての課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	
単元名	(4)資源・エネルギー問題					
単元の目標	世界のエネルギー・鉱産資源、資源・エネルギー問題、世界の工業について、それぞれの特徴を理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	世界のエネルギー・鉱産資源、資源・エネルギー問題、世界の工業についての基本的な事項や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。		世界のエネルギー・鉱産資源、資源・エネルギー問題、世界の工業についてそれぞれの課題を見出し、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。		世界のエネルギー・鉱産資源、資源・エネルギー問題、世界の工業についての課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	

単元名	(5)産業、交通、貿易、人口、村落・都市					
単元の目標	人々の生活と産業、交通・通信・観光、貿易、人口、村落・都市について、それぞれの特徴を理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	人々の生活と産業、交通・通信・観光、貿易、人口、村落・都市についての基本的な事項や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。		人々の生活と産業、交通・通信・観光、貿易、人口、村落・都市についてそれぞれの課題を見出し、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。		人々の生活と産業、交通・通信・観光、貿易、人口、村落・都市についての課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	
単元名	(6)世界地誌					
単元の目標	世界の諸地域の自然環境や特徴について考察し、世界の諸地域の歴史や文化、産業の特徴を地域性、背景をとらえながら理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	世界の諸地域の自然環境や歴史・文化、産業について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。		世界の諸地域の自然環境や歴史・文化、産業について、多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		世界の諸地域の自然環境や歴史・文化、産業に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	
単元名	(7)生活・文化、民族・宗教、国家・領土問題					
単元の目標	世界の諸地域の生活や文化、民族や宗教、国家や領土問題について、それぞれの特徴を理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	世界の諸地域の生活や文化、民族や宗教、国家や領土問題についての基本的な事項や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。		世界の諸地域の生活や文化、民族や宗教、国家や領土問題についてそれぞれの課題を見出し、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。		世界の諸地域の生活や文化、民族や宗教、国家や領土問題についての課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	

6		年間計画				
学期	月	単元	項目	予定時数	考查	
前期	4	(1)地図と地形	<ul style="list-style-type: none"> ●地理情報の活用 ●地球上の位置・時差 ●地図の種類 ●世界の大地形 ●プレートテクトニクス ●火山、地震、断層 ●安定地域と造山運動 ●河川、海岸、氷河地形 ●乾燥、カルスト地形、サンゴ礁 ●地形図の読み取り 	12	前期中間 考查	
	5					
	6	(2)気候、自然災害・防災、環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ●大気大循環と風 ●世界の気候区分 ●植生と土壌 ●自然災害と防災・減災 ●世界の環境問題 ●日本の環境問題 ●環境問題への取り組み 	8		
	7					
	8	(3)農林水産業、食料問題	<ul style="list-style-type: none"> ●農業の分類 ●世界の農業 ●日本の農業 ●農林水産業 ●食料問題 	6		前期期末 考查
	9	(4)資源・エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> ●エネルギー資源の利用 ●石油、石炭、天然ガス ●再生可能エネルギー ●日本のエネルギー利用 	6		
後期	10	(5)産業、交通、貿易、人口、村落・都市	<ul style="list-style-type: none"> ●工業の分類 ●工業の立地と変化 ●世界と日本の産業構成 ●航空・陸上・水上交通 ●世界の貿易 ●世界の人口問題 ●村落と都市の立地 ●都市の発達と機能、内部構造 ●世界の都市・居住問題 	15	後期中間 考查	
	11					
	12	(6)世界地誌	<ul style="list-style-type: none"> ●東アジア ●東南アジア ●南アジア ●西アジア・中央アジア ●アフリカ ●ヨーロッパ ●ロシアと周辺諸国 ●アンゲロアメリカ ●ラテンアメリカ ●オセアニア 	16	後期期末 考查	
	1					
	2					
	3	(7)生活・文化、民族・宗教、国家・領土問題	<ul style="list-style-type: none"> ●世界の衣食住 ●世界の民族・言語・宗教 ●世界の領土問題 	7		